



令和4年11月1日
目黒区立駒場保育園園長

朝夕の風が冷たく、秋の深まりを感じます。園庭の桜の木も紅葉し落ち葉を拾ったり、集めたりして遊ぶ姿が見られます。散歩先の駒場野公園では様々な種類のドングリを見つけ持ち帰り、幼児クラスは図鑑で種類を調べたり、遊びに使ったりしていくことでしょう。

さて、10月の中旬に稲刈りを終えた5歳児は、先日手作業で脱穀をしました。ホールに広げたブルーシートの上に刈り取った稲の束を乗せ、ザル、割りばし、お椀を使っての脱穀の方法を聞くと、早速やってみようと思う道具を手にして取り掛かります。初めは慣れない手つきで、どの道具を使えばたくさん採れるか考えながら試していましたが、自分にやりやすい方法を見つけコツをつかんできたようで、ザルの目に稲穂を通して引っ張ると稲から籾が外れて「こんなに採れたよ」と友達にも教えています。また、シートの上に稲穂を置いてお椀をかぶせて稲を引っ張ると、お椀の中で稲から籾が外れ「たくさん採れておもしろい」「どれくらいあるのかな」「数えられないけど100個より多いよ」という声も聞こえました。約1時間にわたる作業を終えて「大変だった…」とつぶやきながら、シートの上に落ちた籾を拾い集め、一粒ひとつぶとても大切に扱っていました。おにぎりを握る日を楽しみに、今後は手作業でのもみすりを行っていきます。米作りを通してお米のできる過程を知り、食べ物や作る人に対する気持ちも育つことを願っています。新米も出回る季節となりました。主食として食べる機会の多い米に興味関心を持ち、新米のおいしさを味わってください。

今月の予定

- 芋汁会 (3,4,5 歳児)
- お楽しみ会 (3,4,5 歳児)
- 消火訓練 (3,4,5 歳児)
- 歯科検診 (全園児)
- 中旬 身体計測
避難訓練



冬の健康管理

これからインフルエンザや感染性胃腸炎が流行する時期になります。手洗い・うがいが一番の予防策です。園では外遊びやトイレの後、食事の前にしっかり手洗いをしています。飛沫感染予防のため、うがいはしていませんが、ご家庭ではうがいも併せてお子さんと一緒に習慣づけていきましょう。

《つぶやき》

おままごとをして遊んでいた時のこと、
保育士：「はい、ショウロンポウめしあがれ」
子ども「えっ、小学校食べるの？」

(3 歳児)

芋ほり遠足のお弁当を聞いてみると、
保育士：「一番おいしかったのはなあに」
子ども：「きょうりゅうのたまご」

保護者の方に聞いたところ、うずらの卵のことでした。
(4 歳児)

<今月は乳児クラスの散歩の様子をお伝えします>

0歳児クラス「秋の自然にふれて」

公園に着くと、広場を這い這いしたり歩いたりと思い思いに楽しんでいます。シートの上で這い這いをしてきた子どもが周りを見回すと、遠くにいる保育士と目が合い、保育士のところまで行こうとしています。シートから手を伸ばし草の上に手を置くと、少しチクチクする感触に驚いてすぐに手を上げていましたが、草をじっと見てゆっくりと手を下ろし進んでいます。少し背の高い草が顔に触れると、目をぎゅっとつむり草を避けようと顔を傾けながら進み、保育士のところに着くとにこっとして“やっとなつたよ”と言っているかのようにぎゅっと抱きついていました。歩いて探索している子ども草を引っ張ったり、落ち葉を拾ったりしながら、時折足を止めじっと空を見上げていました。目線の先にはトンボが飛んでいて「トンボいたね。まてまて」と保育士が追いかけると「おー」と言い指をさし、目をぱっと開いて“あれはなんだろう”というような表情で、空高く飛ぶトンボを見失わないように夢中になって追いかけていました。



1歳児クラス「じょうず、じょうず」

歩いたり、サークル車に乗ったりして散歩に出かけています。公園に着くと一斉に走り出し、前を走る保育士を「まてー」と笑顔で追いかけてきます。「つかまえたー」「つかまったー」のやりとりをひとしきり楽しむと次は探索活動です。公園にはでこぼこした道や階段、坂道など様々なところがあり、急な坂道の手前で一度止まってどうやって上ろうかなと考える子どもいれば、勢いをつけて上っていく子どもなど様々な姿が見られます。友達が上っていく姿を見て自分も行ってみようとして上り始めますが、途中でバランスを崩し、びっくりして「わあー」と声を上げ立ち止まっていた。「見てるよ、上手上手」と隣から声を掛けると気を取り直して上り、上にたどり着くと得意そうに振り返る表情からは満足感が伝わってきます。「上れたね。すごい」と拍手をすると一緒に拍手をしてにっこり。周りの子ども上まで上っては拍手をしたり、下にいる保育士や友達に「おーい」と手を振ったりしながらくり返し楽しみました。



2歳児クラス 「トンボみつけたよ」

「今日はおさんぽに行こう」と話すと、「むしつかまえる」「どんぐりあるかな」と楽しみに出かけていきます。友達や保育士と手をつないで歩くことにも慣れてきて、保育士が「車がきたよ」と声をかけると、道の端に寄って静かに車が通り過ぎるのを待ったり、横断歩道を渡る時に手を上げたりと少しずつ交通ルールを意識する姿も見られています。公園に着くと「あ、トンボみつけ」と広場に駆け出して行きます。追いかけるもののトンボのスピードが速く、なかなか捕まえることができません。保育士が「走って行ったら逃げちゃうよ。忍者みたいにそっと静かに近づいてごらん」と話すと、「しーっ」と互いに声をかけ合いながらトンボに近づいていきます。しかしこらえきれずに再び走り出してしまおうと、逃げてしまい悔しそうです。保育士が虫取り網でトンボを取ると、駆け寄ってきて「(羽をばたつかせる様子を見て) ぶーんっていつてる」「おめめおおきい」と間近で見るトンボの姿に興味津々でした。虫カゴに入れると「えんちょうせんせいにみせようね」と嬉しそうに眺めています。保育園に持ち帰ると、園庭にいた幼児クラスの子どもたちにも得意そうに見せていました。

